



令和2年7月22日(水) 第11号



1学期 継続中!



波乱に満ちたスタートを迎えた1学期ですが、期末テストも無事に終わり、残りは2週間となりました。この学年だよりが配布される7月下旬は、例年なら夏休みの真っ最中です。コロナの影響で、今年度の1学期は3週間ほど延長されるのですが、“体感”としては、体がまだ夏休みを求めている…と思いませんか？ 確かに、梅雨はまだ明けていないものの、気温はどんどん上昇しているし、朝から暑さが全開で、いかにも“さあ、夏休みだ!”という感じはあります。それでも、なんというか、「まだ1学期に“やり残し”がある!」という気持ちはしていませんか？ 先生たちからすれば、それは授業のことだったり、成績のことだったり、進路のことだったり……、言い換えれば、1学期のうちにキミたちに伝えないといけないことが、まだまだ残っているのです。やはり、どれだけ暑くても、もう少し1学期を続けたいといけません。頑張りましょう!!



そんな中、20日(月)と21日(火)は難波神社の夏祭りが開催されました。コロナの影響で、地域のお祭りや盆踊りがことごとく中止を発表している中、難波神社だけは「実施」を決めたようです。「祭りの規模を縮小する」という話は聞いていましたが、実際、恒例の和太鼓の演奏が中止となり、お客さんの数は断然少なくなっていました。出店の数もやや少なくなり、境内への入口にはマスクやアルコールが置いてあり、常駐している警備員さんが、来る人すべてに「消毒をお願いします!」と声をかけています。夏祭りの実施を聞いたときは「本当に大丈夫なのかな?」と心配しましたが、ウイルス対策をしていることはひしひしと伝わってきました。少なくとも神社の人たちにとっては、かなり勇気のいる決断だったろうと推測します。神社の方に話をうかがってみると、やはりずいぶん議論を重ねた上での結論だったそうです。警察の人とも相談し、もしもお客さんが殺到するような事態があれば、警察官が入場制限みたいな整理をするという約束もあったそうです。

以上の話は、すべて神社の方が、目を輝かせて話してくださったことです。きっと祭りの実施に反対する意見もたくさんあったのでしょう。お祭りに参加している人たちの笑顔がいつまでもなくなるないように、みなさんの無事を祈るばかりです。複雑な気持ちになった夏祭りの夜でした。



自分を認め、相手を認め…



国語の授業では、今や恒例となっている《1分間スピーチ》が始まりました。1年のときから続けている1分間スピーチですが、今回のテーマは【見せてお話】です。どんなものでもいいので、みんなに何らかの“モノ”を見せてお話をするといいものです。キミたちがどんなスピーチを展開するのか本当に楽しみにしていましたが、思い出の品を家からわざわざ持参する人や、いつも使っている筆記用具でスピーチをする人など、まさに十人十色で、実に楽しい時間となっています。中には、事前の準備が不十分だった人が、とっさの思いつきで苦労しながらスピーチをするような人もいて、それはそれでクラス全体が盛り上がる要素となっています。



スピーチは決して“独り言”ではなく、聞く人がいて初めて成立する“コミュニケーション”です。そのため、聞く人の態度次第で、スピーチが成功することあれば、失敗することもあります。その点、どのクラスも本当に温かい雰囲気ですピーチを聞くことができます。クラスの37人の中には、すでに仲が良い人もいれば、まだあまり話したことのない人もいます。緊張している人もいれば、緊張の裏返しからへらへらしたような表情でスピーチをする人もいます。思い入れが強すぎて、1分間スピーチなのに3分間近いスピーチを展開する人もいます。どんなスピーチであっても、キミたちが創り上げる雰囲気は一樣に「温かい」という言葉がぴったりです。そんな雰囲気ができれば、スピーチが成功しないはずがありません。その結果、1人がスピーチを終えたら、その人だけでなく、クラスのみんなが実に温かい笑顔になっています。



私たちは必ず誰かと関わりながら生活をしています。そんな中では、《相手を認める気持ち》が大切になります。1分間スピーチでキミたちが創り上げる雰囲気は、《相手を認める気持ち》があふれた結果できあがるものです。そして、相手を認めるためには、その前にまず《自分を認める気持ち》が必要です。きっとキミたちは《自分を認める気持ち》と《相手を認める気持ち》の両方を持ち合わせているのだと思います。3年生のクラスが始まって実質2か月弱、どのクラスもまだまだ発展途上です。それでも、《相手を認める気持ち》があふれている5つのクラスが、悪いクラスになるはずがありません。みんなで素敵な61期生を積み重ねていきましょう!!



保護者のみなさまへ

学年は、一定の落ち着きの中、1学期の終盤を迎えています。2回のテストを終えましたが、いずれのテストに対しても、とても誠実に向き合っている姿が見られ、受験生としては頼もしい限りです。来週31日(金)からは学期末懇談が始まります。学校のことや進路のことなど、話をしながらの“お年頃”の生徒たちですが、ぜひご家庭で話し合う機会をもってください。学校生活の様子から考えれば、どの生徒も自分なりに進路のことを考えていると思います。